

Rotary

2025-2026年度



UNITE
FOR
GOOD

Rotary 

釧路ベイロータリークラブ会報

会長方針

「ロータリーを語り合しましょう、そして積極的に参画しましょう」

2025-2026年度 第24回(通算第1277回)

プログラム『卓話例会』

■日時:令和8年2月17日(火)18時30分～ ■例会場:アクアバールくしろ

【会長】森 圭一郎 【副会長】貝嶋 政治 【幹事】平野 知子

■ 点 鐘 森 圭一郎会長

■ 0-列-ソング『それこそロータリー』

ソングリーダー - 貝嶋 政治君

■ 会長挨拶 森 圭一郎会長

皆さんこんばんは。

先週の例会は写真家、長倉洋海様の卓話例会でした。スライド一枚一枚の写真のすべてが現実、そして被写体の向こう側には常に長倉様が存在しているという現実、心を打たれました。カメラが欲しいという切っ掛けから現在に至るまでの50年以上において写真を撮るお姿、危険やリスクを冒してでも長倉様ご自身の想いを貫き通す姿勢に、現在の日本人には足りない部分のヒントが感じられました。写真を通して戦争の悲惨さ、儚さを伝えていただき、我々はそれを知ることによって世界平和を考えていく事が出来るのではないのでしょうか。地元釧路にこのような素晴らしい活動をしている方が居るとい事、そして鈴木会員の同級生だったという驚きもありましたが、この度の例会を通してこのよう

な貴重な機会を作っていただきました鈴木委員長、大変ありがとうございました。

さて、本日の例会は人間尊重・地域発展・環境保全委員会の卓話例会です。委員会名は長いですが、それぞれが別々の意味を持つ3つの機能を持つ委員会です。我々の住む釧路地域に置き換えてみるとそれぞれが重要かつ永遠に続いていくテーマなのかなと感じ取れると思います。人間尊重とは、他者の存在や価値を正しく認識し、その人格や意見、価値観、生活様式などを認め、敬う心の状態を指します。これは、健全な人間関係を築き、社会を円滑に保つ上で不可欠な要素であります。地域発展とは一人当たりのGDPの成長という事ですが、必要な政策において地方創生による、地域発展や地域の生産性上昇、地域経済の振興、すなわち地域産業の競争優位獲得とあります。環境保全とは、地球上の自然環境や生態系を保護し、持続可能な状態を維持するための取り組みで、公害を抑制し、天然資源の持続可能な利用を目指すとあります。皆さんの職業において

も、この3つの機能についてかかっている部分が大いにあると思いますが、本日の卓話で感じ取っていただければと思います。

本日の例会は人間尊重・地域発展・環境保全委員会担当です。倉茂委員長に宜しく願い申し上げます、本年度第24回例会の会長挨拶とさせていただきます。本日よりどうぞ宜しくお願いします、ありがとうございました。

■ 幹事報告 平野 知子幹事

皆さま、こんばんは。

本日の幹事報告は3点です。

1点目 ガバナー事務所より地区大会の報告書がWEB配信しておりますのでご確認ください。

2点目 ハイライトよねやま第24回 RI 台湾囲碁大会のご案内をボックスの上に置いています。

3点目 第8回理事役員会の議事録をボックスに入れてありますのでご確認ください。

幹事報告は以上です。



■ 各種記念日の紹介(親睦活動委員会)

【入会記念日】

【誕生祝】

【結婚祝】

該当者はありません。

・本日のニコニコ献金

【倉茂委員長よろしくお願ひします】

森圭一郎君、平野知子君、伊藤広樹君、後藤義信君、澤田雅仁君、葎本正美君、植原元晴君

【今日は頑張ります】

倉茂義衛君

☆本日のニコニコ献金 ￥16,000円

☆累計 ￥627,138円

皆さん、ありがとうございました



・本日のプログラム

「卓話例会」

人間尊重・地域発展・環境保全委員会
倉茂委員長



本日の卓話ですが、私自身仕事と関連がある環境保全について卓話をしていこうと思っております。

日本での環境保全への取り組みは、
・環境保全型農業：農林水産省
・クリーンエネルギー：経済産業省
・グリーンインフラ：国土交通省
・自然環境保護：環境省
それぞれの省で取り組まれています。

環境保全型農業は、自然環境への負荷を減らしつつ持続可能な農業を実現する取り組みを目指しています。しかし、近年は効率よく作物を育てるために化学肥料や農薬を

使用するケースが増え、土壌や河川の汚染、生態系バランスへの影響も問題視されています。こういった問題を改善するために、化学肥料や農薬の使用を減らし、自然と共存しながら持続可能な農業を実現するための取り組みが環境保全型農業です。

クリーンエネルギーは、太陽光や風力、地熱といった自然由来のエネルギーです。地球温暖化の原因とされる素質効果ガス(二酸化炭素など)を排出しない、または排出量を抑えられるとして、グリーン成長戦略とともに推進をしています。

グリーンインフラは、自然環境が持つ様々な機能や仕組みを社会の課題解決に活用しようとする取り組みです。例えば、豪雨対策として道路に樹木を植えたり、都心で生き物が住めるような緑地や水辺を整備したりすることもグリーンインフラとしての取り組みに当たります。グリーンインフラが国内で注目されるようになった大きなきっかけとして、2011年3月に発生した東日本大震災が挙げられます。海岸の竹林が津波の勢いを和らげ、被害の軽減に役立ったと広く報道されたのです。近年では、集中豪雨に対してグリーンインフラとして田んぼやダム、都市緑地などを活用して洪水被害を防ぐ「流域治水」への期待も高まっています。

環境保全とは、環境省が様々な省庁と協力しながら進めている取り組みの総称です。オゾン層保護のためのウィーン条約は、1985年3月22日に定められたオゾン層保護のための国際的な対策の枠組みを定めた国際条約です。

PCB とは化学物質の総称で、水に溶けない、化学的に安定、電気を通さない。これを利用して変圧器、コンデンサー、蛍光灯安定

器などに使用されていました。昭和20年から昭和54年製造の機器類に含まれていました。皆さんもご存じだとは思いますが、PCB は人の健康や環境への有害性が確認されており、PCB は勝手に処分はできません。高圧変圧器、高圧コンデンサー、蛍光灯類に含まれている PCB にも種類があります。低濃度 PCB、高濃度 PCB に分類されています。PCB の処分できる施設は北海道の室蘭にあります。高濃度の処分最終期日は2023年3月31日で、すでに終了されています。低濃度の処分最終期日は2027年3月31日が期限です。また、処分は個人でできませんので運搬の登録をした業者しか持ち込めません。自分の知っている業者さんは、エア・ウォーターさん、日本通運さんがお客様に代行して運搬しているのは知っています。個人的な話ですが、取引のあるレストラン泉屋さんの電気室にも高濃度の高圧コンデンサーと低濃度の変圧器がそれぞれ各1個ずつありました。最初は振興局から連絡があり泉屋さんの電気室にある高圧機器の台帳を作成し

て機器内の絶縁油のサンプルを PCB が含まれているか調べてくださいと連絡があり、

早速保守管理をしている電気保安協会にお願いして調べてもらった結果コンデンサーは高濃度、トランスは低濃度と分かり振興局に報告しました。コンデンサーは2023年まで、トランスは2027年までに処分してくださいと連絡がありその旨を泉屋の社長に伝えて処分場(JESCO)の処分手続きを進めて、当時は18年前くらいで処分も順番待ちでした。毎年振興局からは、高圧機器の台帳と変わりはないか。処分日程日は決まりましたか等の連絡が来ていました。最終的に運搬業者さんは日本通運さんをお願いして2019年に処分が終了しました。

余談ですが、以前よそから聞いた話ですが、旧太平洋炭鉱さんではかなりの台数の PCB が含まれている高圧機器を所有している様だと聞いたことがあります。まともに処分したら億単位になるんでないかということでしたか、その後の話は聞いておりません。

釧路バレーボールクラブ 出席委員会

在籍会員数	20名	賜暇 / 免除	欠席 / メイクアップ	出席率
今週の出席率	8名	名 / 名	12名 / 名	40%
日修正出席率	名	名 / 名	名 / 名	%

会報・雑誌・IT委員長 後藤 義信 : yoshinob510@outlook.com
 副委員長 横山 豊 : yokoyama_jiritsu@email.plala.or.jp
 委員 植原 元晴 : ueharaoto@jeans.ocn.ne.jp
 委員 大越 拓也 : takuya.76tsru@gmail.com
 委員 美馬 嵩俊 : tm.0919mima@gmail.com

クラブ事務所 釧路市幸町14丁目1-1 ノースタウン2階 TEL : (0154) 23-6175 FAX : (0154)23-6213